

中学校武道授業実施報告

実施日：2024年10月24日(木)、31(木) 計2日間

場 所：東根市立大富中学校（山形県）

対 象：3年生 38名

指導者：緑川 寿幸（山形県空手道連盟 副理事長・普及指導委員長）

加藤 葵（山形県空手道連盟 理事・強化委員）

昨年に引き続き、東根市立大富中学校で空手道授業を行ないました。指導は山形県空手道連盟の 緑川 寿幸 普及指導委員長 と 加藤 葵 強化委員 が担当しました。

今年は大富中学校から『3年生を全空連主催の「全国学校空手道コンクール」にエントリーしたい。保健体育の空手道授業でコンクールに向けての取り組みを行いたい。』と依頼がありました。

現3年生は1年生の時に空手道授業を実施し「基本形」を習得した経緯があります。今回も、「第2回全国学校空手道コンクール」要項に掲載されている動画サンプルを視聴し、事前学習をしていました。いくつかグループを形成し「基本形1～3」のいずれかを自分たちで選択し、既に習得していました。

授業では生徒達の質問を受け、動画では伝わりにくい部分を中心に、具体的なポイント（受け、突き、運足、方向転換など）をアドバイスしました。それにより生徒たちは理解が深まったようで、グループごとに生徒同士が教えあい、繰り返し練習する様子が見られました。生徒の主体的・対話的で深い学びが見られ、活気のある授業でした。『全国学校空手道コンクール』のエントリーで、最終選考まで進み、中学校最後の思い出になってくれたらと切に願っております。

空手道授業が正課の武道授業として実施される事に期待し、今後も空手道の普及に取り組んでまいります。

山形県空手道連盟

普及指導委員長 緑川 寿幸